



なかよし

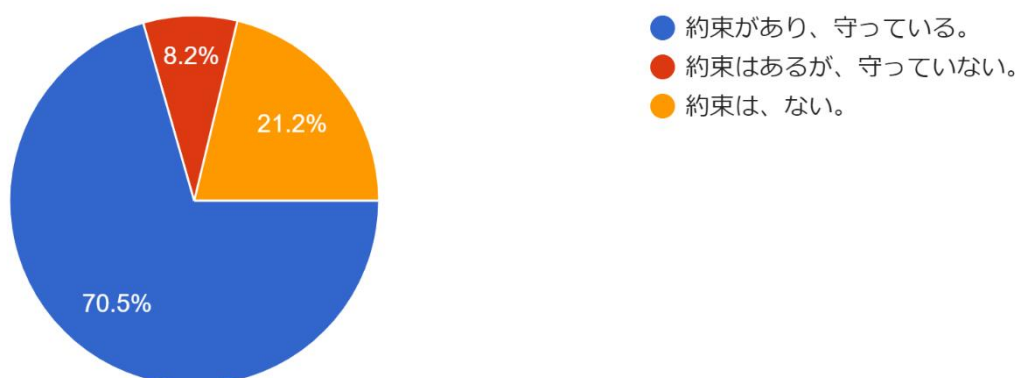


～メディア教室を行いました～

7月6日(水)に3年生～6年生を対象に、リモート開催によるNTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室を行いました。インターネットやSNS等を使用することで生活が豊かになったり、緊急事態における安否確認に役立てられたりとよい面が顕著に見られます。しかし、県内の児童生徒の中には、例年、インターネットやSNS等の使いすぎによる生活習慣の乱れや不適切な使い方をすることで思わぬトラブルに巻き込まれてしまうことがあります。そこで、メディア教室に向けて児童と保護者の皆様にアンケートを行いました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートへの御協力ありがとうございました。アンケートの結果の一部をお知らせいたします。

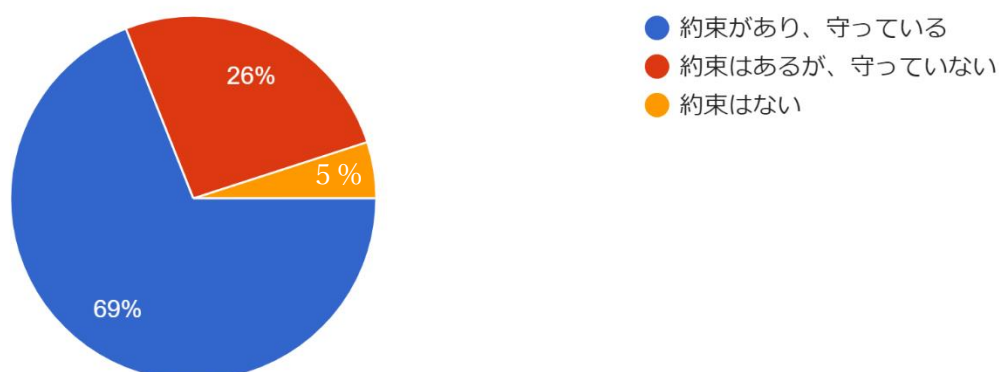
【児童の回答】

スマホ、タブレット、ゲーム機、インターネットを使うときに、おうちの人との約束はありますか。



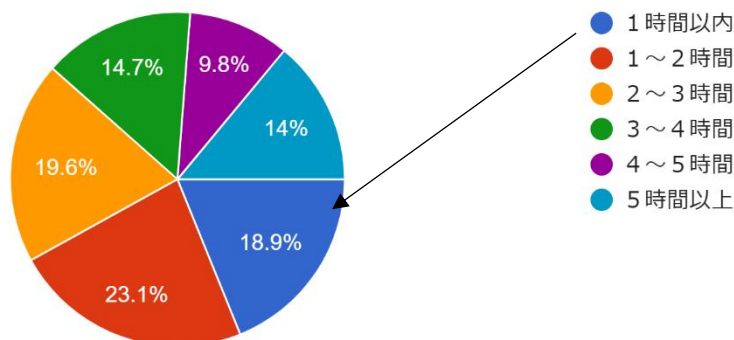
【保護者の回答】

お子様の携帯電話、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、インターネット等の使用について、御家庭での約束事がありますか。



【児童の回答】

あなたは1日でどのくらいの時間、ゲームやインターネットなどをしていますか。一番近いものにチェックをしてください。(教材のタブレット学習やテレビの時間は入れません。)




《アンケート結果より》グラフを省略しているものもあります。


*ゲームやインターネット使うにあたり、おうちの人との約束について、児童と保護者で認識に差がある。

*1日にゲームやインターネットに費やす時間が2時間以上と回答した児童が半数以上おり、5時間以上と回答した児童は約14%いる。

*使っている中で困ったことは、視力が下がった(36.4%)、運動する時間が減り、疲れやすくなった(35.1%)、とある。



このアンケートを踏まえ、メディア教室を行いました。
児童の感想を紹介します。



☆親に何時何分まで使うか、この動画は見てよいのか、友達には写真を撮ってよいかを確認しないといけなかったことがわかりました。(3年 川原 優騎さん)

★ながらスマホをしたり、大きな声で電話をしたりしていると、周りの人が迷惑になったり、みんなが困ってしまうことがわかりました。(3年 宮崎 優衣さん)

☆ルールを守って安全にスマホやゲーム機を使っていきたいなと思いました。ラインとかでも友達がいやな思いをしないようなメッセージを送りたいと思いました。(4年 小久保 凜さん)

★他の人が写真に写っていたら、SNSやインターネットに載せない。…インターネットで知り合った人を信用しない。ルールを家で作る。困ったときは、家の人に相談する。(4年 坂本 縁さん)

☆相手の気持ちと自分の送ったメッセージがどんな風に読み取られるのかを考えることが大切だと思った。SNS への投稿は危険だらけと分かった。 (5年 小澤 颯華さん)

★SNS などをやる場合は、親との約束を守ったり、トラブルを起こしたりしないようにする。個人情報を出さないように心がけようと思った。 (5年 天田 心帆さん)

☆ゲームの課金、トラブルになるようなメッセージを打たないこと (特に LINE・SNS) に気を付けて、使っていきたいと思います。 (6年 広野 瑠希歩さん)

★インターネットや SNS などで個人情報を出すのはよくないことや、フィルタリングを付けることが大切だと思いました。 (6年 中島 実乃里さん)

メディア機器利用に関する Q & A

保護者の皆様からいただいたアンケートの中で、いくつか講師の先生への質問があり、回答をいただきましたので紹介いたします。



子どもが、時間を守ってゲームをするにはどう指導したらよいか。約束を守り使用するにはどうしたら良いのか。

お子さまそれぞれの性格もあり、御家庭毎の方針やかかわりがあると思いますので参考として回答させていただきます。

まずは保護者の方がお子さまに対して

- ①ゲームやスマホの利用を頭ごなしに否定せず子どもが楽しいと思っている理由を聞き、興味を示す
- ②そのうえでルールをお互い話し合い一緒に決めることではないでしょうか。また、お子さまに対して保護者の方から<お子さまにスマートフォンを持たせている (使わせている) 目的や理由>を伝えていただき、そのうえで一緒にルールについて考え、

- ・ルールをなぜ決めるのか
- ・親として何を守ろうとしてのルールなのか

を理解させることも大切ではないかと考えております。

ルールを押し付けるのではなく、一緒に決めることで自分で決めたことを守る気持ちをあわせて育むのも有効ではないでしょうか。

そして保護者の皆さまも「食事中はスマホを使わない」など共通したルールを守ることで、お子さまも納得してルールを守ることができると思います。





それぞれの家庭環境もあると思うが、スマホを渡す年齢についての考え。

御家庭によって事情も異なるため、いつから持たせるべきかはその家庭により様々です。「いつから」と年齢だけを基準にするのではなく、持つ前に「なぜ必要なのか」、「何に使うのか」といったスマートフォンを使う目的を含めて、お子さまと一緒に御家庭内で話し合ってください、ルールを決めて御利用いただくのがよろしいのではないのでしょうか。



ネットやゲームでの、トラブル例とその見破り方や回避法を具体的に知りたいです。

長時間利用や高額課金、誘い出しや自撮り被害、コミュニケーショントラブル情報発信での個人情報特定、炎上など様々なトラブルが起きています。悪意を見破り事前に対応する・回避するというのは、トラブルの内容によっては難しいこともありますので利用可能なアプリや時間・お金に制限をかけたり、悪質なサイトに繋がらないような設定ができるようなフィルタリングを設定したりが有効です。

各携帯電話会社が提供するフィルタリングサービスに加え、iOSであれば、スクリーンタイムを、Androidであれば、デジタルウェルビーイングという機能もありますので活用してください。

そして、少しでもおかしい、困ったと思ったときは警察や専門の窓口にご相談してください。



ブルーライトカットの眼鏡など使用した方が良いでしょうか。

御家庭毎のお考えがあり、ブルーライトの影響についても様々な御意見があるので、一概に利用を良い悪いということは申し上げられません。

各御家庭で使用について御判断いただければと思います。

また、30分に1回は休憩するなど、長時間画面を見続けないようにすることが大切です。



保護者の皆様へ

子供達の夏休みの宿題の中に、「家庭で話し合おう！」というピンク色の用紙があります。是非、この夏休みを利用して、家庭でのルール作りを行ってほしいと思います。9月1日（木）に提出となっておりますので、よろしくお願いいたします。

もし、お子様がインターネットやゲーム等を現在使っていない場合でも、今後使うことを想定してルール作りをしていただければと思います。